

- 8月21日(木)、山形新聞社主催の「庄内こども探検隊」が開催され、こども14名と保護者7名の計21名の皆さんが、河川や高速道路の工事現場や酒田港を見学しました。
- 当事務所が担当した酒田港の見学では、港湾業務艇「みずほ」に乗船し、船上から基地港湾（海洋再生可能エネルギー発電設備等拠点港湾）の工事現場や港湾施設などを見学しました。
- この日は、酒田港に入港する貨物船では最も大きい「石炭船」が着岸しており、参加者の皆さんはその大きさに驚いている様子でした。
- 波風の影響で、船が少々揺れましたが、防波堤の効果を体感する良い機会になったのではないのでしょうか。
- 初めて乗船した参加者もあり、海上から地元酒田港を巡る体験はとても新鮮だったようです。



職員による船内での説明



基地港湾の工事現場



荷役中の石炭船